

使っている花 ■ シンビジウム
(ノーザングローリー)、マム
(フェゴダーク)、大王松

12月
December



シンビジウム

花言葉 飾らない心 / 素朴

ランが醸す高貴な雰囲気
シンプルにあしらってモダンな印象に

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花に艶のある、鮮度がよいものを選びましょう。
- 切り戻しをして、切り花栄養剤入りの水にいけましょう。
- 日持ちはよいですが乾燥に弱いので、霧吹きで保水してあげるとベターです。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① ガラスの器に半分ほど水を入れ、切り花栄養剤を適量加えます。
- ② 大王松を器の縁を利用して横に流すようにいけます。シンビジウムは茎の下の方の花はあらかじめカットし、茎の上部の花をメインにいけます。花の頭が重たいので転げないように気をつけましょう。
- ③ マムを短めにカットして、器の口元を引き締めるようにプラスします。カットしたシンビジウムの花は一輪ずつグラスなどに浮かべ、丸く結った大王松の葉と共にあしらうと小さくも凛としたテーブルアレンジに。

和洋折衷の華やぎで迎える初春

鉢花が贈答用で人気ですが、冬から春先にかけて切り花の生産も盛んです。寒さに強く日持ち性も抜群、蠟のような質感に宿る瑞々しさも魅力です。1本で素晴らしい存在感ですが、花一輪一輪アレンジしてもテーブルが華やかに。最近は、春蘭のような清楚で高貴な小輪タイプや芳香性に富む品種などバラエティも広がっています。

